

〰〰〰〰「20周年記念特集」にあたって 〰〰〰〰

水草研究会の20周年記念事業をやろうという話が決まったのは2年前の総会である。その一つとして、記念出版物を作成しようということになったが、諸般の事情を考慮して会報の特集号として編集することになった。特集記事だけで1号を編集する案もあったが、本誌は学術刊行物に指定されている関係上、前半が通常の研究報文、後半が特集記事という構成になったことをご理解いただきたい。

内容は、水草あるいは水草研究会に対する自由な「声」と全国集会の準備に携わっていただいた方の苦労話や思い出から、研究会の歴史を振り返ろうというものである。

お陰様で多くの方から原稿をお寄せいただき、多彩な内容になった。

実行委員（角野康郎、國井秀伸、林 浩二）3名の多忙で、作業は遅れに遅れてしまい、早くから原稿をお寄せいただいていた方にはたいへん申し訳ない結果となったが、今回、ようやく形にすることができた。当会の第1回全国集会は1979年8月、会報の第1号は1980年8月に出ている。とすると今回は23周年ということになるのだろうか。厳密な意味では20周年ではないが、「20周年記念特集」とすることをご理解いただきたい。会報が3号雑誌に終わらずに75号まで来たことも記念してよいことである。末尾には、22年間続いている会報の総目次も付けた。薄っぺらい冊子でも、積み重なればなかなかのものである。

水草研究会の発足当初は数十名であった会員数も今では400名を超えた。その存在意義と会への期待はますます高まっている。これをひとつのステップに、さらなる発展を期すことができればと願っている。

（角 野 康 郎）